

## 地方分権21世紀ビジョン懇談会について

### 第1回(1月12日(木)開催)

- 「開催要綱」等を踏まえ、各先生方の地方分権に係る問題意識についてフリートーキング

#### 【参考1】開催要綱における検討内容

- (1) 地方の自由度の拡大のための改革(道州制を視野に入れた国と地方の役割分担の見直し等)
- (2) 地方の責任の明確化のための改革(破たん・再建法制の検討等)
- (3) 国と地方を通じた財政健全化のための改革(中期地方財政ビジョン等)
- (4) 地方行革の推進(地方自治体の資産・負債管理等)
- (5) 不交付団体の増加目標
- (6) 制度の簡素化・透明化

#### 【参考2】懇談会の構成員

猪瀬直樹	作家
大田弘子	政策研究大学院大学教授(座長)
小早川光郎	東京大学大学院法学政治学研究科教授
島田晴雄	慶應義塾大学経済学部教授
本間正明	大阪大学大学院経済学研究科教授
宮脇 淳	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授

### 第2回(1月30日(月)開催)

- 第1回の議論を踏まえ大田座長が作成した「10年先の地方分権ビジョンを描くための検討課題(案)」についてフリートーキング

【参考】10年先の地方分権ビジョンを描くための検討課題(一部修正)(抄)

1、地方の「自由と責任」を確立するための改革

- ・ 国による補助負担金や法令などによる縛りをどうすればいいか
- ・ 地方債発行における自由と責任をどうすればいいか
- ・ 破産法制をどのように整備すればいいか
- ・ 国・都道府県・市町村の権限と責任をどう考えればいいか
- ・ 税源配分、課税自主権のあり方をどう考えるか

2、「努力が報われる」ための改革

- ・ 地方交付税の配分ルールをどう考えるか
- ・ 行政改革へのインセンティブをどう組み込めばいいか

3、国と地方を通じた「財政健全化」のための改革

- ・ 中期的な財政健全化目標をどう設定するか(中期地方財政ビジョン等)
- ・ 国に依存しない自立した自治体の増加目標をどう設定するか

- 各先生方より、国は地方にどこまで関与するか等々について意見発表があり、フリートーク
- 大田座長から「国によるしほりを完全に自由にした場合の論点(案)」を提出(国の関与・規制を廃止する場合その他の論点)

第3回(2月10日(金)開催)

- 島田先生より地域活性化等について、猪瀬先生より人口一人当たり一般財源等の分析状況等について発表
- 宮脇先生より破綻再生制度のあり方について意見発表。その後、財政破綻の予防・早期是正の重要性、本間案で早期是正機能を担うとされる第三者機関と地方議会との関係等々について議論
- 次回も引き続き、破綻法制、地方債のあり方について議論予定
- 大田座長より「今後のスケジュール(案)」について説明

【参考】今後のスケジュール(案)(抄)

第4回 破綻法制と地方債のあり方

第5回 将来の三位一体像(補助負担金・規制、税、地方交付税)

第6回 将来の三位一体+その他の課題(活力、行革等を含む)

第7回 10年後の姿とりまとめ

第8回～10回 10年後の姿からみた当面の取組みについて